

渡島・檜山地方の気象

平成24年3月（2012年）

函館海洋気象台

平成24年4月27日

◎ 気象概況

この期間の天気は、周期的に変化したが、月の後半は低気圧や気圧の谷の影響により、雪や雨の降る日が多かった。

月平均気温は平年並～平年より低く、月降水量は一部を除いて平年並～平年より少なく、月間日照時間は平年並～平年より少なかった。

【上旬】

1日は、高気圧に覆われ日中は概ね晴れたが、夜には前線の通過で雨が降った所があった。2日は、気圧の谷の影響で曇りだったが、太平洋側では晴れた所があった。3日から4日は、高気圧に覆われ概ね晴れた。5日は、気圧の谷の影響で曇りだったが、太平洋側で雪が降った所があった。6日は、低気圧の影響で雨や雪が降った。7日は、低気圧の通過で雨や雪が降った。8日は、低気圧の影響で概ね曇りだったが、日中に晴れた所があった。9日は、高気圧の縁辺で概ね晴れた。10日は、高気圧に覆われ概ね晴れた。

【中旬】

11日は、高気圧に覆われ概ね晴れたが、太平洋側で雪が降った所があった。12日は、低気圧の通過で雪が降った。13日は、気圧の尾根に覆われ概ね晴れた。14日は、気圧の谷の接近で雪が降ったが、日中に晴れた所があった。15日は、気圧の谷の通過で雪が降ったが、午後から次第に高気圧に覆われ概ね晴れた。16日は、高気圧に覆われ概ね晴れた。17日は、気圧の谷の中で曇りだったが、雨や雪が降った所があった。18日は、気圧の谷の通過で、曇りだった。19日は、冬型の気圧配置で雪が降った。20日は、冬型の気圧配置により雪が降ったが、太平洋側では晴れた所があった。

【下旬】

21日は、冬型の気圧配置が続き雪が降ったが、午後から晴れた所があった。22日は、低気圧の影響で曇りだったが、太平洋側では晴れた所があった。23日は、気圧の谷の通過で曇りだった。24日は、低気圧の通過で雪が降った。25日は、気圧の谷の中で概ね曇りだった。26日は、冬型の気圧配置により曇りだったが、太平洋側では晴れた所があった。27日は、高気圧に覆われ概ね晴れた。28日は、低気圧の通過で雪や雨が降ったが、午後から高気圧に覆われ次第に晴れた。29日は、高気圧に覆われ概ね晴れた。30日は、前線を伴った低気圧の接近で雨や雪が降った。31日は、低気圧の影響で雨や雪が降った。

気温：各地点の月平均気温は $-0.6 \sim 2.3$ °Cで、平年差は $-1.0 \sim -0.1$ °C。長万部・函館市美原・木古内・八雲町熊石・奥尻町稲穂では平年並で、その他の観測点では平年より低かった。

降水量：各地点の月降水量は $16.0 \sim 146.0$ mmで、平年比は $39 \sim 146$ %。松前では平年よりかなり多く、函館市川汲・函館市美原では平年より多く、木古内・福島町千軒・江差・上ノ国町石崎では平年並で、その他の観測点では平年より少なく、特に八雲町熊石では平年よりかなり少なかった。

日照時間：各地点の月間日照時間は $90.6 \sim 130.1$ 時間で、平年比は $76 \sim 107$ %。長万部・八雲町八雲・八雲町熊石・せたな町瀬棚・今金・奥尻町稲穂では平年並で、その他の観測点では平年より少なく、特に函館市川汲・北斗・函館市美原では平年よりかなり少なかった。

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の統計値

官署名	気温 (°C)		降水量		日照時間		降雪の深さ 月合計 (cm)	月最深積雪 (cm)
	月平均	平年差	月合計 (mm)	平年比 (%)	月合計 (時間)	平年比 (%)		
函 館	1.0	-0.4	74.5	126	128.2	81	64	68
江 差	2.0	-0.5	57.5	93	102.1	81	29	35

(平年比・差は1981年から2010年までのデータで算出した平年値を用いて求めている。)

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の極値更新表

特記事項なし。

◎ 異常気象および気象災害発生状況

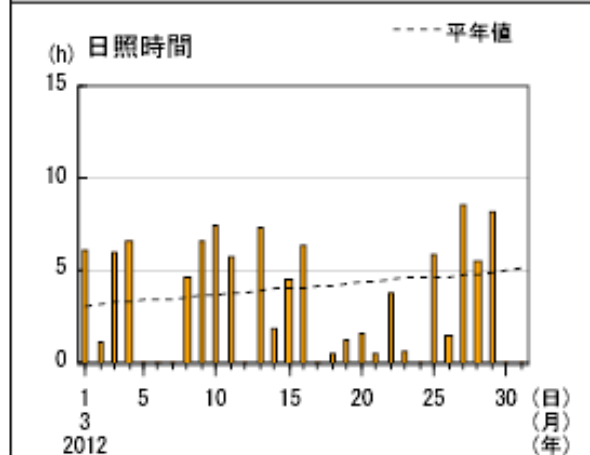
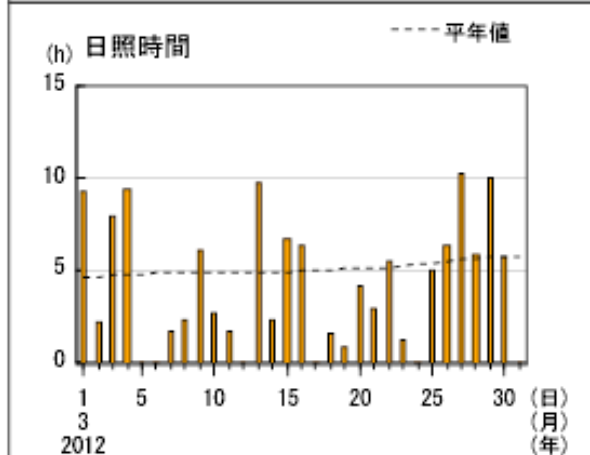
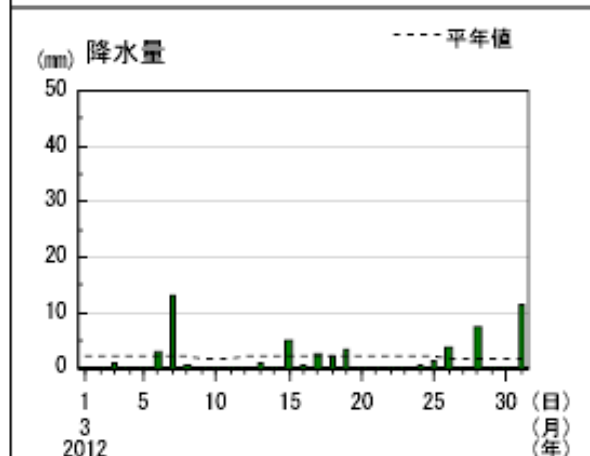
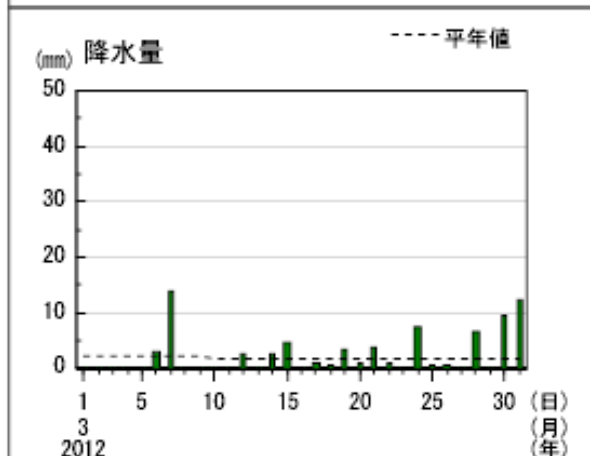
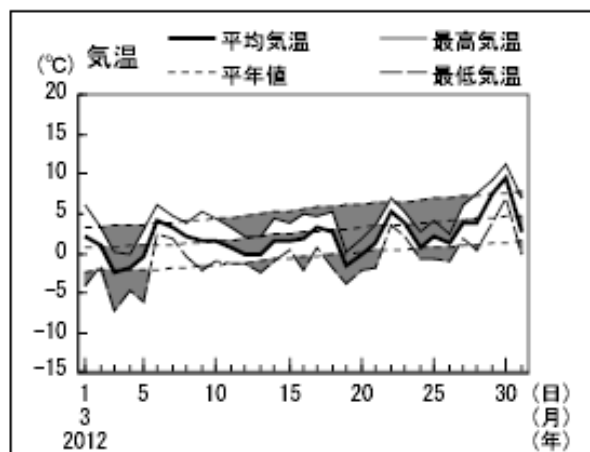
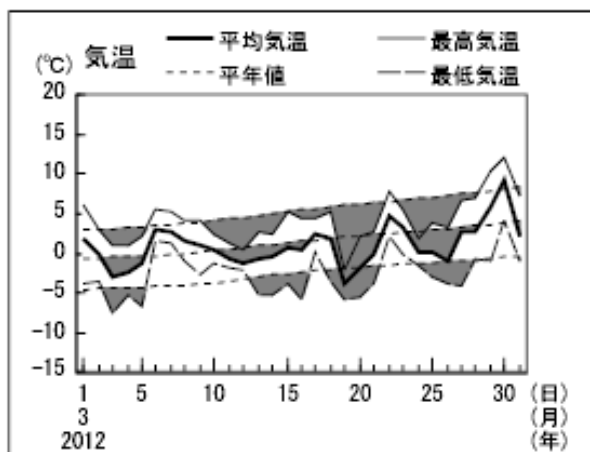
特記事項なし。

◎ 氣象經過圖（3月）

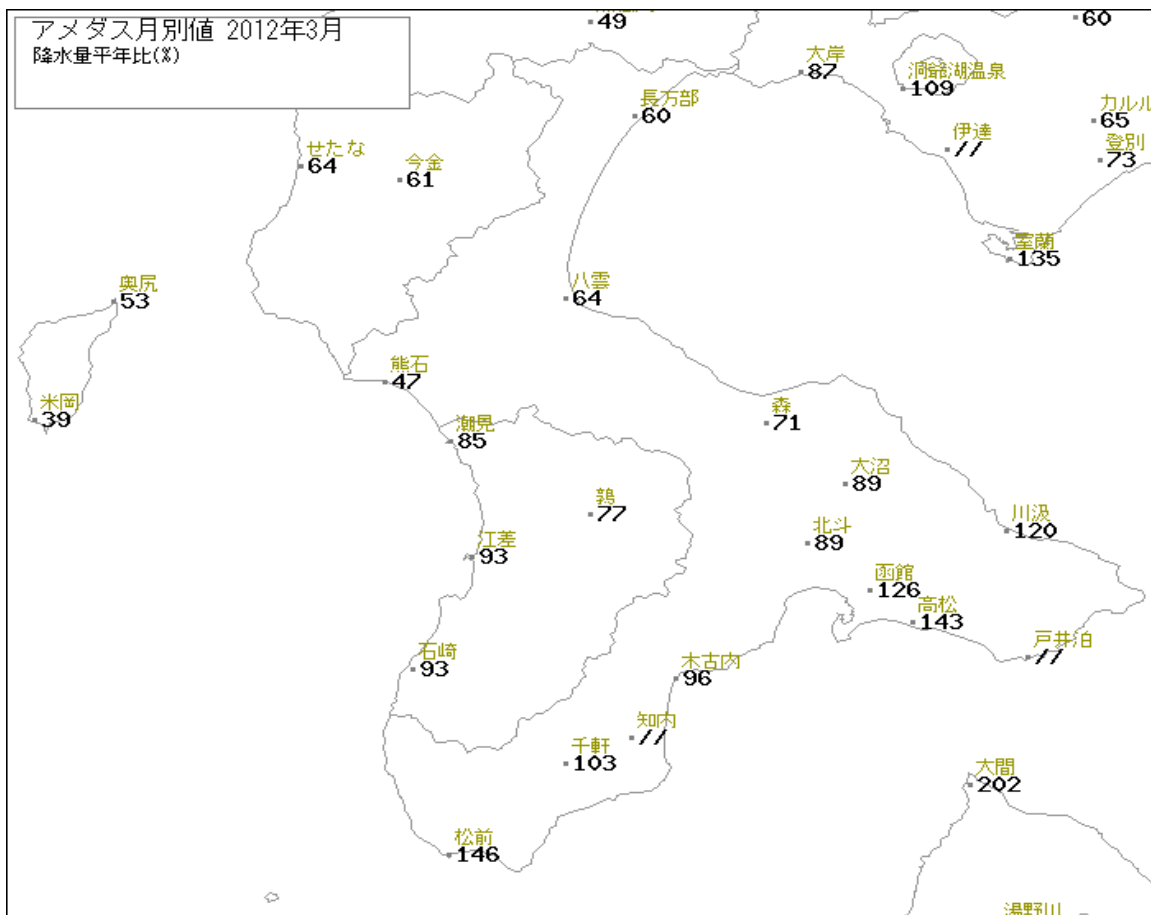
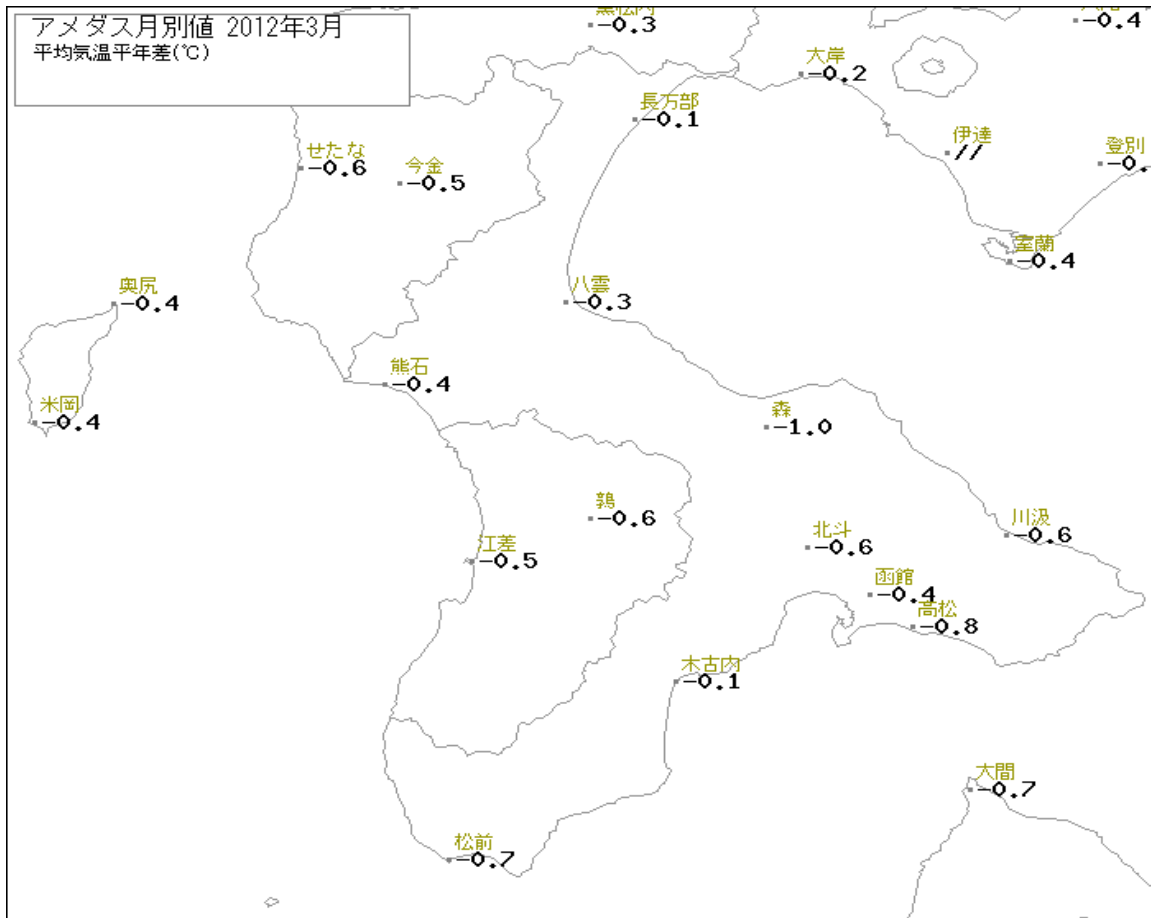
地上氣象：2012年3月1日-2012年3月31日

函館

江差



◎ 気象分布図（3月）



アメダス月別値 2012年3月
日照時間平年比(%)

